

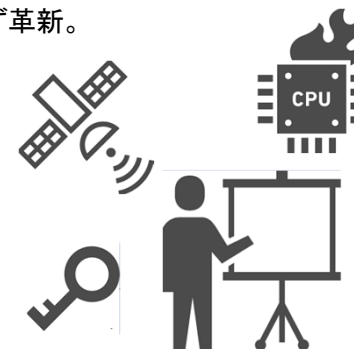
# 未来を拓く先端技術活用人材育成事業

## 1. 現状と課題

- 第4次産業革命の進展、デジタルトランスフォーメーション(DX)、六次産業化等、産業構造・仕事の内容は急速かつ絶えず革新。
- コロナ禍の中、DX、IoTの進展の加速度がさらに高まり、革新の流れは一層急激に。

【参考データ】「(デジタル人材の育成・確保に向けて) 令和4年2月4日 デジタル田園都市国家構想」

- 日本人労働者のデジタル/テクノロジーのスキルは64か国中62位。(IMD「デジタル競争力ランキング」2021)
- デジタル人材の7割強がIT企業内に偏在。(IPA「IT人材白書2017」)
- 国内事業会社の約9割がIT人材の質・量ともに不足感を感じている。(IPA「DX白書 2021」)
- 国内のIT技術者数の約6割が東京圏に集中している。(国勢調査2015)



- 先端技術を活用した生産性の向上や新たな価値の創出を実現する**地域IT人材**の育成
- 地域社会にイノベーションをもたらす地域産業の新陳代謝を図るアントレプレナーシップ(起業家精神)の醸成

起業家精神の醸成・先端技術を活用し、課題解決策を提案、実行できる**地域IT人材**の育成

### 先端技術を活用した学びの進化

#### ① 先端技術活用プログラム ▶ 工業系科目の学びの進化

【目的】 先端技術を活用した生産性の向上と高付加価値のものづくりを実現する人材の育成



【概要】 [学校単位]学校での特別授業 (推進校3校×年6回)  
【主な内容】 ・ドローンプログラミング講座・小学校出前授業

#### ② 外部コーディネーター・ファシリテーターの設置

【目的】 外部人材や連携企業等と学校の教育活動との調整・支援体制の構築



【概要】 [由布]外部ファシリテーターの設置  
【主な業務】ドローン授業と出前授業の充実

### 課題解決型学習(PBL)の充実

#### ① OITAスタートアップアカデミー

▶ キャリア教育の視点に基づく学びの深化

【目的】 地域社会にイノベーションをもたらすマインド(チャレンジ精神、探究心等)と資質・能力(情報収集・分析力等)を有する人材の育成

【概要】 [学校単位]学校での特別授業(3校×年2~4回)  
【主な内容】自己探求プログラム・SDGs講座(2校)



#### ② 外部コーディネーター・ファシリテーターの設置

【目的】 地域の教育資源と学校を結びつけ、生徒の多様な能力を活用する「学びの場」を創出し、キャリア教育の充実を図る

【概要】 [日田三隈]外部ファシリテーターの設置  
[三重総合]外部ファシリテーターの設置  
【主な業務】部講師招聘による課題解決型学習の充実



### 県立高校未来創生事業へ移行

- ・外部コーディネーターの設置  
[情報科学]オートボックスセブン等との連携充実・AIプログラミング演習
- ・デジタルファブ리케이션講座[情報科学]実習機会の充実(各年15回)
- ・IoTソリューション開発体験講座[情報科学]学校での特別授業(年15回)
- ・環境整備(Wi-Fi・インターネット・アドビクラウド)

- ・バーチャルカンパニー運営講座  
[情報科学高校](年15回)[2~3年課題研究]